

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【公表番号】特表 2018-504241 (P2018-504241A)

【公表日】平成 30 年 2 月 15 日 (2018.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-006

【出願番号】特願 2017-541343 (P2017-541343)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/94 (2006.01)

A 6 1 B 18/14 (2006.01)

A 6 1 B 17/3211 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/94

A 6 1 B 18/14

A 6 1 B 17/3211

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 3 日 (2020.3.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 3】

一実施形態では、電気外科器具であって、第 1 のジョー部材と第 2 のジョー部材とを有するエンドエフェクタであって、第 1 のジョー部材及び第 2 のジョー部材は、第 1 の開位置からそれらの間に組織を把持するための第 2 の閉位置へと互いに対して動くことが可能であり、ジョー部材の少なくとも一方が電気外科エネルギー源に接続されるように適合されていることにより、ジョー部材の間に保持された組織を通じて電気外科エネルギーを選択的に導通して、組織の封止を行うことができる、エンドエフェクタと、第 1 のジョー部材又は第 2 のジョー部材の少なくとも一方に、第 1 のジョー部材と第 2 のジョー部材との間に保持された組織を切断するためにナイフをナイフ溝に沿って往復運動させるように構成されたナイフ溝が画定されていることと、エンドエフェクタに連結された 2 段階関節運動ジョイントであって、エンドエフェクタに関節運動を行わせるように構成された第 1 の関節運動バンド及び第 2 の関節運動バンドに動作可能に連結され、第 1 のジョー部材及び第 2 のジョー部材を開閉するヒンジ及びロック機構を備えた、複数の関節運動部分を有する外側切断金属管と、外側切断金属管内に配置される、固体であるが可撓性の内側コアと、を含む、2 段階関節運動ジョイントと、を備える、電気外科器具が開示される。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 6】

図 4 ～ 2 3 は、関節運動シャフト機構を備えた電気外科器具の様々な実施形態を示す。一実施形態では、電気外科器具は、関節運動機構及びエンドエフェクタジョープッシュ機構を有する回転可能なシャフトを備える。一実施形態では、電気外科器具は、ジョー、関節運動バンド、及び関節運動ジョイントを形成する内部の可撓性ガイドと外部のレーザ切断された外側管との組み合わせを有する関節運動バイポーラ高周波 (R F) 装置を備える。

。一実施形態では、電気外科器具は、ナイフが回転すると回転するように構成されたエンドエフェクタを備える。一実施形態では、電気外科器具は閉鎖リング及びリンクを備える。リンクはジョーを引っ張って開き、閉鎖リングはジョーを押して閉じる。一実施形態では、電気外科器具は、ナイフを回転させ、ジョイントを通じて押すことができ、また、エンドエフェクタのジョーに設けられたRF電極の1つに沿ってケーブルを動かせるようにナイフとチューブとを連結する中空可撓性ケーブルを備えている。一実施形態では、電気外科器具には、回転可能な枢動軸を介してジョーの一方に取り付けられた関節運動バンドが設けられる。一実施形態では、回転可能な枢動軸を介して閉鎖リングに外側管が取り付けられる。様々な実施形態において、本開示は、限定されることなくこれらの要素の一部又はすべての組み合わせを含む電気外科器具を提供する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0050

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0050】

2段階関節運動ジョイント204は、外側管202に切り込まれた複数の関節運動部分206を備える、外側の区分又は切断された（例えばレーザ切断するか又は単純に切断された）金属管で構成され、ジョー部材216a、216bを開閉するヒンジ／ロック機構と、固体であるが可撓性の内側コア220とが外側切断金属管内に配置されている。2段階関節運動ジョイント204は、関節運動ジョイント204を通じてナイフ224及び関節運動バンド208a、208bを案内する。ジョー部材216a、216bを開閉する外側金属関節運動部分206を有することにより、特にジョー回転などの更なる機構のための空間が内部に解放される。内部の固体であるが可撓性の内側コア220のジョイントは、一定の関節運動半径Rを可能とする。内部の固体であるが可撓性の内側コア220は、プラスチック又は他の固体であるが可撓性の材料で形成することができる。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0108

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0108】

〔実施の態様〕

（1） 電気外科器具であって、

第1のジョー部材と第2のジョー部材とを含むエンドエフェクタであって、前記第1のジョー部材及び前記第2のジョー部材は、第1の開位置からそれらの間に組織を把持するための第2の開位置へと互いに対して動くことが可能であり、前記ジョー部材の少なくとも一方が電気外科エネルギー源に接続されるように適合されていることにより、前記ジョー部材の間に保持された組織を通じて電気外科エネルギーを選択的に導通して、組織の封止を行うことができる、エンドエフェクタと、

前記第1のジョー部材又は前記第2のジョー部材の少なくとも一方に、前記第1のジョー部材と前記第2のジョー部材との間に保持された組織を切断するためにナイフをナイフ溝に沿って往復運動させるように構成されたナイフ溝が画定されていることと、

前記エンドエフェクタに連結された2段階関節運動ジョイントであって、前記エンドエフェクタに関節運動を行わせるように構成された第1の関節運動バンド及び第2の関節運動バンドに動作可能に連結され、

前記第1のジョー部材及び前記第2のジョー部材を開閉するヒンジ及びロック機構を備えた、複数の関節運動部分を有する外側切断金属管と、

前記外側切断金属管内に配置される、固体であるが可撓性の内側コアと、を含む、2段階関節運動ジョイントと、を備える、電気外科器具。

(2) 2段階回転式連結ジョイントを更に備える、実施態様1に記載の電気外科器具。

(3) 前記関節運動バンドが、前記2段階回転式連結ジョイントを介して前記第1のジョー部材又は前記第2のジョー部材の少なくとも一方に動作可能に連結されている、実施態様2に記載の電気外科器具。

(4) 前記2段階回転式連結ジョイントが、回転式閉鎖リング、及び該回転式閉鎖リングに連結された閉鎖リンクを含み、前記外側管が前記回転式閉鎖リングに取り付けられている、実施態様2に記載の電気外科器具。

(5) 前記リンクが、前記第1のジョー部材又は前記第2のジョー部材の前記少なくとも一方を引いて他方のジョー部材に対して開くように構成され、前記回転式閉鎖リングが、前記第1のジョー部材又は前記第2のジョー部材の前記少なくとも一方を押して他方のジョー部材に対して閉じるように構成されている、実施態様4に記載の電気外科器具。